

法人（事業所）理念		・子どもたち一人ひとりが安心して過ごし、個性を尊重しあえる場所 ・子どもたちが自信をもって成長できる場所 ・子どもたちが色々な体験を通して興味をもてる場所											
支援方針		・遊びながら学ぶ支援・・・楽しく遊び、できることを増やしていきます。興味のある遊びを増やしてルールを学んでいきます。 ・季節を感じてもらう支援・・・四季を大切に季節ごとの思い出に残るような工作、製作をしていきます。 ・個別療育・・・特性や課題に応じて、一人ひとりに寄り添った個別支援をしていきます。											
営業時間		平日 祝日	10 9	時	00 00	分から	19 18	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得 ・健康的な生活リズムを身に着けるサポート（維持・改善）睡眠・食事・排泄 ・定期的な心身の把握（毎日の観察・面談、個別活動） ・身だしなみの整え方 ・危機認知スキルの向上（疑似体験・映像・SST）											
	運動・感覚	・感覚の特性への対応（特性に応じた感覚の導入、触覚・固有覚・前庭覚を特に意識した運動や制作） リズム遊び、感覚教材、散歩、季節の制作、色々な道具の使い方等 ・姿勢や運動、基本的・応用的動作能力の向上（専門職員による集団・個別療育） トランポリン、サーキット、マット運動 ・ボールを使った遊び ペットボトルボーリング											
	認知・行動	・小集団での活動や遊びの中で、適切な行動を習得する（認知の偏りに配慮する） ・こだわりや偏食に対応する ・空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定（スケジュールや時間の視覚化） ・お出かけ 社会でのルール（社用内でのルール）安全な行動（交通ルールを守る）											
	言語 コミュニケーション	・挨拶や場面に合った言葉遣い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・読み、書きに対する学習支援 ・コミュニケーション手段の活用（SST・発表する機会の提供・ロールプレイ）											
	人間関係 社会性	・小集団、集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ ・社会体験や地域交流の場を設ける ・自己理解、他者理解への支援（SST・社会体験・個別療育）											
家族支援		・指導後のフィードバックや保護者面談、ご家族の方向けのトレーニングを通じてお子さまの発達状況や支援のニーズの確認 ・お子さまとの関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行う								移行支援		・具体的な移行先との調整、相談援助、連携 ・地域交流の機会を提供することで、集団への参加・適応能力を養う	
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ・学校や併用利用先との情報共有								職員の質の向上		・定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施 ・職員の各種勉強会や研修への参加	
主な行事等		・季節の行事（お花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等） ・季節の製作 ・長期休暇には外部講師による、制作や体験、レクリエーションの実施											